

平成18年度
製図・作品展



生徒主事
大塚 篤

平成18年度は専門学校の正規の行事が行われる最後の年であり、生徒は2年生のみの参加となりましたが、今年度で59回目を迎えた最後の「製図・作品展」を無事開催することができました。

当初は、クラスが通常の半分となることから、相当小規模な開催になるかと思われましたが、蓋を開けてみれば、各学科、クラブ、有志団体、専門学校同窓会からの参加によって、合計11の企画からなるイベントとなり、フロアも例年通り、4・5・6階を使用する規模となりました。

準備の段階では、なかなか乗り気でなかった生徒達も、開催当日が近づくにつれて、日増しに気持ちと力が入っていったようです。なかには学外の加工場で本格的な木工作业による準備を行い、開催当日まで自分達の企画を実現するため、フラフラになりながらも格闘する様子も見られました。なかなか満足いく結果を出すことは難しかったのかもしれませんが、しかし、わずか2日間の開催ではありましたが、今回の「製図・作品展」での活動を通して、個人レベルの表現活動だけでなく、コミュニケーションやマネジメントの難しさに触れることができたのではないのでしょうか？

こうした経験が、全ての卒業生のみなさんにとって、何かの糧になることを願っています。

